

自衛隊配備で、石垣島はようになる？

平和になるのでしょうか？

いいえ、戦争の可能性が高まります。

尖閣諸島が属する石垣市にミサイル部隊の軍事基地を置いたら、相手方は黙っているでしょうか？必ず、軍事的な対抗措置を取るでしょう。対抗措置が対抗措置を呼べば、東シナ海は一触即発の緊張につつまれます。

防衛副大臣の説明も、「防衛力の空白解消」は言うものの、「島が平和になる」との安請け合いはしていません。沖縄、先島が再び本土防衛の捨て石にされるのは、まっぴらごめんです。

安全になるのでしょうか？

いいえ、危険になります。

もしも戦争になれば、ミサイル基地は真っ先に相手方のミサイル攻撃を受けます。島に安全な場所はなくなり、避難できるかどうかで生死が分かれかねません。

平時でも、ミサイル車両が走り、火薬庫や射撃場が置かれ、軍事演習が行われるようになったら、生活の安全が脅かされます。

経済が豊かになるのでしょうか？

いいえ、人口流出の島になりかねません。

尖閣周辺で小競り合いが起き、ミサイル基地が発射準備に入り、観光客が島を出ようと空港に殺到するだけで、観光は大打撃を受けます。平時でも、迷彩服やミサイル車両の往来は、観光のイメージダウンになります。

石垣市は、基地などなくても立派に繁栄しています。でも、基幹産業の観光が壊されたとき、他の産業だけで経済を支えられるのでしょうか？航空便数や人口が減り、基地経済に頼る生活に追い込まれるなんて、最悪です。

大災害時の孤立無援が解消されるのでしょうか？

いいえ、基地がなくても自衛隊は来てくれます。

台風後に電力復旧作業にあたる方々を運んでくれた陸自の大型輸送ヘリコプター CH47 は、3名の要員で55名の人員を運べます。5機ほどあれば、災害派遣命令後数時間のうちに那覇から200名を超す救援部隊が到着するでしょう。2012年1月策定の石垣市地域防災計画にも、自衛隊災害派遣に備えたヘリポートの整備が図入りでしっかり書かれています。ミサイル戦の戦場になる危険を冒してまで、基地配備に頼る必要はないのです。

戦争と大災害のどちらの危険が高いかも、良く考えてみるべきでしょう。戦前や中東の経験からすれば、これ以上緊張を激化させたら、今後10年間に戦争になる確率は、大地震津波の発生確率より大きくなると思います。